

## 第 35 回伊方地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

### 1. 日 時

令和6年10月2日（水）14：00～15：00

### 2. 場 所

愛媛県オフサイトセンターほか ※テレビ会議併用

### 3. 出席者

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、経済産業省
- (2) 関係自治体等 : 愛媛県、山口県、大分県、愛媛県警察本部、山口県警察本部
- (3) オブザーバー : 伊方町、八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市、伊予市、内子町、上関町、四国電力株式会社
- (4) 庶務 : 内閣府 藪本専門官、長澤専門官、森下主査  
膳亀原子力防災専門官

### 4. 議 題

- (1) 令和6年度 愛媛県原子力防災訓練について
- (2) その他

### 5. 配布資料

- ・資料1 令和6年度 愛媛県原子力防災訓練概要
- ・資料2 原子力防災ピクトグラムと表示の手引き

### 6. 概 要

- (1) 令和6年度 愛媛県原子力防災訓練について

○愛媛県から、資料1に基づき、令和6年度愛媛県原子力防災訓練については、10月16日、17日の2日間の日程で実施予定であり、17日の実動訓練では、本年1月に発生した能登半島地震の状況を踏まえ、住民避難の多様化に重点を置き、孤立地区からの海路・空路による住民避難訓練や道路啓開、家屋倒壊を想定した指定避難所等での屋内退避訓練等を実施予定であるとの説明があった。

また、16日の図上訓練では、地震発生直後の初動対応に焦点を当てた県災害対策本部運営訓練等を実施予定であるとの説明があった。

○愛媛県からの説明後、原子力規制庁から愛媛県に対して、屋内退避訓練の実施内容について質問があり、愛媛県から、屋内退避訓練はUPZ内の複

数の指定避難所等で実施し、住民による屋内退避の手順確認や、避難所内の備蓄状況の確認等に取り組む予定であるとの回答があった。

○内閣府から山口県に対して、山口県が実施予定の訓練内容について質問があり、山口県から、今年度の訓練は愛媛県が実施する訓練にあわせて10月16日、17日の2日間と10月22日には山口県独自で実施予定であり、災害対策本部運営訓練や愛媛県オフサイトセンターに設置される緊急時モニタリングセンターに職員を派遣するほか、救護所設置・運営訓練等を実施予定であるとの回答があった。

○内閣府から大分県に対して、大分県で実施予定の訓練内容について質問があり、本県においても愛媛県が実施する訓練にあわせて10月16日、17日に実施予定で、愛媛県災害対策本部とテレビ会議を接続するほか、愛媛県伊方町から避難する住民の受け入れや避難所運営訓練を実施予定であるとの回答があった。

○内閣府から愛媛県に対して今年度の訓練の参加規模について質問があり、愛媛県から、96機関、約2万人の参加を得て実施予定であるとの回答があった。

## (2) その他

○内閣府から資料2に基づき、令和6年7月に内閣府ホームページにおいて、住民等にわかりやすい情報発信をすることを目的に定めた原子力防災ピクトグラムを公表した旨情報提供があった。

○内閣府から、前回の作業部会以降、令和6年6月に防災基本計画の修正があったことや令和6年9月に原子力災害対策指針の改正があった旨情報提供があった。

以 上